

泌尿器癌の肉腫様変化における腫瘍抑制機構の解明とターゲット因子の同定とその応用に関する研究

2010年1月1日から2019年12月31日までに泌尿器癌のために手術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「泌尿器癌の肉腫様変化における腫瘍抑制機構の解明とターゲット因子の同定とその応用」という研究を倫理委員会の承認並びに施設長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2010年1月1日より2019年12月31日までに日本医科大学付属病院にて、泌尿器科癌の治療や診断のための手術または病理解剖を受けられ、検体が病理に提出された患者さんの病理検体および病理解剖検体を用いた、泌尿器癌の肉腫瘍変化という病態の機序を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：泌尿器癌の肉腫様変化における腫瘍抑制機構の解明とターゲット因子の同定とその応用

研究期間：研究実施許可日～2030年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 泌尿器科 柳雅人

(2) 研究の意義、目的について

肉腫様変化を伴う泌尿器癌はめずらしいものの非常に進行が早く、進行した場合は有効な治療法がないため致命的になることがほとんどです。肉腫様変化のメカニズムがわかれば将来的に有効な治療法を発見することにつながります。肉腫様変化のメカニズムを解明し治療法を発見につなげることを目的といたします。この疾患を患われた患者さんが将来的に有効な治療を受けられるようにすることに社会的および学術的な意義があると考えます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2010年1月1日より2019年12月31日までに日本医科大学付属病院にて、泌尿器癌の手術もしくは病理解剖を受けられた患者さんの病理検体および病理解剖検体を用いた肉腫様変化のメカニズムを調査する研究です。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：治療や診断のために摘出された病理検体および病理解剖検体

情報：年齢、性別、癌の左右、採血検査結果、画像検査結果、病理組織学的検査結果、治療経過、転帰など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。

その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。公表にあたり、個人情報は保護されます。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学 泌尿器科 助教 柳雅人

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：25670

メールアドレス：area-i@nms.ac.jp